

「観光立国実現に向けたアクションプログラム2015」における 鉄道関係の施策について



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1. インバウンド新時代に向けた戦略的取組

(3) 欧米からの観光客の取り込み

- ・ 日中韓三国の観光当局が、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの検討等を進める。【新規】(P8)

5. 外国人ビジネス客等の積極的な取り込み、質の高い観光交流

(5) 質の高い観光交流の促進

<歴史・文化等に関心の高い観光客層の取り込み>【新規】(P49)に【再掲】

第7回日中韓観光大臣会合共同声明

日本側、中華人民共和國及び大韓民国の観光担当大臣は、2018年4月12日、日本の京都・京都において、第7回日中韓観光大臣会合を開催し、前回の東京会合が2011年5月に開催されて以来、世界経済の好況においてアジアの発展の好機である中、2011年7月に東京で第3回日中韓観光・インフラ・インフラの閣僚会合（2018年2-3月）が、2013年5月に東京で第4回日中韓観光・インフラ・インフラの閣僚会合（2020年1-3月）がそれぞれ開催され、第7回日中韓観光大臣会合共同声明（以下「共同声明」）が採択されている。

共同声明は、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、航空路線の活用とクルーズ観光活性化等により域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの活用を進めることについて、以下のとおり重要が一貫した。

1. 人的移動の円滑化による日中韓観光大臣会合共同声明

(1) 日中韓三国の人的移動の円滑化は、大韓民国の観光担当大臣は、2018年4月12日に開催された第7回日中韓観光大臣会合において、2011年5月に開催された第3回日中韓観光・インフラ・インフラの閣僚会合が2011年5月に開催されて以来、世界経済の好況においてアジアの発展の好機である中、2011年7月に東京で第3回日中韓観光・インフラ・インフラの閣僚会合（2018年2-3月）が、2013年5月に東京で第4回日中韓観光・インフラ・インフラの閣僚会合（2020年1-3月）がそれぞれ開催され、第7回日中韓観光大臣会合共同声明（以下「共同声明」）が採択されている。

日中韓三国の観光当局は、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、航空路線の活用とクルーズ観光活性化等により域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの活用を進めることについて、以下のとおり重要が一貫した。

(3) 三国の観光当局は、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、航空路線の活用とクルーズ観光活性化等により域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの活用を進めることについて、以下のとおり重要が一貫した。

日中韓三国会合共同声明

本に際しては、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、航空路線の活用とクルーズ観光活性化等により域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの活用を進めることについて、以下のとおり重要が一貫した。

(3) 三国の観光当局は、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、航空路線の活用とクルーズ観光活性化等により域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの活用を進めることについて、以下のとおり重要が一貫した。



(3) 三国の観光当局は、東アジア域内外を結ぶ交通の接続性と域内の周遊性向上に向け、各国の民間事業者との協力を強化し、航空路線の活用とクルーズ観光活性化等により域内共通航空パスの活用、クルーズ観光活性化、域内共通鉄道パスの活用を進めることについて、以下のとおり重要が一貫した。

鉄道関係施策② 鉄道の旅の魅力向上

3. 地方創生に資する観光地域づくり、国内観光の振興

(9) 鉄道の旅の魅力向上

- ・ JR九州の「ななつ星in九州」に代表されるトレインクルージングを新たな日本の魅力ある観光資源とすべく、地方における特色あるクルーズトレインの開発、旅行商品の造成を促進する。【新規】(P29)
- ・ 地方に外国人旅行者を呼び込むため、和歌山電鐵の「たま電車」や長野電鐵の「スノーモンキー特急」、各地のサイクルトレインの取組などの優良事例の共有を通じて、地方鉄道における外国人向けサービスの充実に努めるとともに、民鉄協やJNTOと連携し、地方鉄道に係る情報をウェブサイトで一元的に発信するなど、情報発信の強化を図る。【新規】(P29)

地方における特色あるクルーズトレイン



ななつ星in九州

情報発信の強化



○猫の駅長「たま」が勤務し、「いちご電車・おもちゃ電車・たま電車」の3つのかわいい電車が走り、国内外から多くの観光客が訪れる和歌山電鐵・貴志川線

○鉄道沿線で運営する観光施設「地獄谷野猿公苑」までを結ぶ「スノーモンキー号」の運行や、入場券と切符を組み合わせた「SNOW MONKEY PASS」を販売



4. 先手を打っての「攻め」の受入環境整備

(6) 多言語対応の強化

＜空港、駅・車両、道路、旅客船ターミナル＞

・ 鉄道車両の緊急停車時の外国人旅行者への情報提供について、国と鉄道会社等により構成する検討会において、簡易な表現による情報提供を可能とする方策を検討し、早期の導入を促進する。【新規】(P.36)

＜ICカード・企画乗車券の利便性向上と情報発信＞

・ 広域周遊型乗車券の開発・販売、既存サービスの充実・改善を進めるとともに、複数の広域周遊型乗車券の中から目的にあった乗車券を容易に選択できるようにするための一覧性のある情報提供を促進する。【新規】(P.39)

緊急停車時の情報提供等

● 非常時等の情報提供(禁止・注意を促す)の例 日・英・中・韓

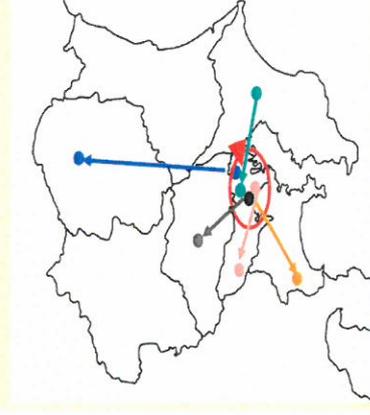
| | | | |
|-------------------------|---|----------------------|------------------------------|
| 列車外に出ないでください。 | Stay inside the train | 请不要下列车 | 차량 밖으로 나오지 마십시오 |
| 落ち着いて避難してください。 | Stay calm as you move to safety | 请保持冷静并避难 | 당황하지 마시고 대피해주시기 바랍니다 |
| 係員の案内や、誘導灯を目印に避難してください。 | Listen for instructions. Follow guide lights. | 请遵从主管人员的引导或诱导灯标记进行避难 | 담당자의 안내나 유도등을 따라 대피해주시기 바랍니다 |

※ 観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン(平成26年3月観光庁)より抜粋

(検討例)

現在、首都圏の民鉄においては多種多様な企画乗車券が販売されているが、利用可能範囲が自社にとどまっている

- ①各事業者が連携した新たな広域周遊型乗車券を開発
- ②各事業者の企画乗車券をWebや空港駅で一元化して販売



【主な外国人向け企画乗車券例】

- Tokyo Subwaytaker(東京メトロ、都営地下鉄)
 - ・東京メトロと都営地下鉄の全線フリー
 - ・空港アクセス京急線、京成線と連携した商品も発売
- TOBU RAILWAY DISCOUNT PASS(東武鉄道)
 - ・浅草駅から日光駅、日光駅(東武)東武バスがフリー
- S-yliner e-ticket(京成電鉄)
 - ・成田空港駅から田草堂、上野駅までの片道のスカイライナー乗車券
- 高尾山初音(京王電鉄)
 - ・京王線沿線の駅から高尾駅までの往復乗車券 箱根 風山 ケーブルカー、リフトの乗車券
- Kavagoe Access Ticket(西武鉄道)
 - ・西武新宿駅、南田原駅から武川駅(西武)までの往復のレッドロープ(フリー)乗車券
- Hakone Free Pass(小田電鉄)
 - ・小田急線各駅から小田原までの往復の特急ロマンスカーの乗車券

鉄道関係施策⑤ 主要ターミナル駅におけるわかりやすい案内表示の充実等

6. 「リオデジャネイロ大会後」、「2020年オリンピック・パラリンピック」及び「その後」を見据えた観光振興の加速

＜東京駅の案内等の改善＞

- ・オリンピック・パラリンピックの玄関口となる、東京駅及びその他の主要ターミナル駅において、鉄道・バス・タクシーの一覧性のある分かりやすい案内の充実、多言語対応の向上、アクセシビリティの高い乗り場の確保等に取り組み。【新規】(P53)

主要ターミナル駅の案内等の改善

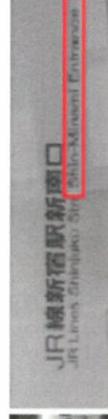
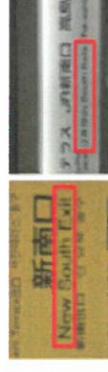
- 主要ターミナル駅における案内表示の改善を図るため、自治体や鉄道事業者、関係者からなる協議の場を設置。

乗り場案内や乗換案内等の案内連続性の確保
施設管理者ごとに設置される案内サインの表記の統一

- ・乗り場案内や乗換案内などの連続性の確保
- ・施設管理者ごとに設置される案内サインの表記の統一
- ・運行障害等が発生した場合の多言語案内の方法等



各事業者ごとに駅名表示がされていることで、他事業者を利用したい外国人旅行者等が迷う懸念のある事例



施設管理者により、表記のゆれが見られる事例 「新宿駅新南口」の表記のゆれ

「京王新線」の表記のゆれ

東京都多言語協議会資料より

観光立国アクション・プログラム2014からの継続事項①

4. 先手を打っての「攻め」の受入環境整備

(6) 多言語対応の強化

＜鉄道の駅施設・車両等＞

- ・ 鉄道事業者による駅施設・車両等の案内表示の多言語化の取組みを促進する。その際、特に、外国人の利用者目線から、鉄道事業者同士の調整や、鉄道施設を出た後の地下街や地上側の関係者等との連携によって、案内表示の連続性の高度化を徹底する。【改善・強化】(P.36)
- ・ 外国人旅行者の移動しやすい環境を整備するため、旅行者の利便性を考慮して必要な路線における鉄道駅のナンバリング導入を促進する。【改善・強化】(P.36)

(7) 無料公衆無線LAN環境の整備促進など、外国人旅行者向け通信環境の改善

＜無料公衆無線LAN環境の整備・多言語対応の徹底＞

- ・ 空港と都心を結ぶ路線をはじめ、鉄道やバスにおいて、列車内など移動中でも情報の円滑な収集・発信ができるよう、駅外の観光施設等との接続の連続性を確保することに留意しつつ、外国人旅行者が利用しやすい無料公衆無線LAN環境の整備を促進する。【継続】(P.38～39)

(8) 公共交通機関による快適・円滑な移動のための環境整備

＜ICカード・企画乗車券の利便性向上と情報発信＞

- ・ 広域周遊型乗車券購入の際、外国人旅行者が海外から予約を行い、国内到着後スムーズに購入・引換ができるようにするとともに、海外発行クレジットカードで交通系ICカードを購入・チャージできるよう、環境整備を行う。【改善・強化】(P.39)

観光立国アクション・プログラム2014からの継続事項②

<美術館・博物館、観光施設等と相互利用可能な共通パスの導入>

- ・公共交通機関の乗り継ぎに係る乗車券の購入や観光施設等での入場券の支払いは、外国人旅行者にとって極めて煩雑であることから、旅行者利便の向上、移動の円滑化、費用の低廉化等を図るため、公共交通機関、美術館・博物館、観光施設等で相互利用可能な共通パスの導入に向けて検討を進める。【改善・強化】(P39～40)

<空港アクセスの改善>

- ・交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会において、空港アクセスの改善に向けて東京圏における今後の都市鉄道のあり方について検討を行う。【改善・強化】(P40)

(12) 観光案内拠点の充実、外国人旅行者への接遇の向上等

- ・駅における案内機能(鉄道に限らず周辺地区を含む。)の充実・強化のため、多言語対応の総合案内所(コンシエールジュ)やデジタルサイネージ等の整備を促進する。【改善・強化】(P44)

6. 「リオデジャネイロ大会後」、「2020年オリンピック・パラリンピック」及び「その後」を見据えた観光振興の加速

(3) オリンピック・パラリンピックを機に訪日する外国人旅行者の受入環境整備 <無料公衆無線LAN環境の整備・多言語対応の徹底>

- ・オリンピック・パラリンピック大会開催会場が集まる選手村の周辺8km程度の範囲において外国人旅行者が利用しやすい無料公衆無線LAN環境の整備促進を徹底するとともに、「2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」と連携して、外国人旅行者が利用する主要な施設において多言語対応の改善・強化を徹底する。【改善・強化】(P52～53)

観光立国アクション・プログラム2014からの継続事項③

＜多機能フリーパスの検討＞

- ・外国人旅行者のオリンピック・パラリンピック観戦にとどまらず、都内及び近郊地域の観光を促進する観点から、「観戦チケット・IC乗車券一体化フリーパス」の検討を促進する。【継続】(P.53)

＜地方への鉄道旅行の促進＞

- ・オリンピック・パラリンピック観戦を目的とした訪日外国人が、力強く復興している東北地方をはじめ日本各地を訪問するよう、企画乗車券の造成を促進する。このため、例えば観光資源として魅力のある列車の乗車や文化遺産を巡る等各地のモデルコースを作成し、リーズナブルな価格の新しい旅行商品の造成を促進する。【改善・強化】(P.54)
 - ・外国人旅行者が鉄道利用に大きな関心を寄せ、地方への旅行が促進されるよう、過去のオリンピック・パラリンピック開催国において、メダリストのサイン等をラッピングした列車を運行した事例も参考にしつつ、大会気運の醸成を兼ねた取組を検討する。【改善・強化】(P.54)
- (5) オリンピック・パラリンピック開催を契機としたバリアフリー化の加速
- ・鉄道車両における車いすスペースの設置等をさらに充実するとともに、電動車いすをより容易に利用できるようにする。【改善・強化】(P.55)